

# これからの公共施設を考える 市民シンポジウム

佐倉市では、学校や公民館、図書館など多くの建物を所有しています。その多くは昭和40年代以降の人口急増を背景に整備してきたことから老朽化が進んでおり、今後も維持・管理していくためには多額の費用が必要になると見込まれます。一方で、人口減少や少子高齢化の進行も予想される中、追加的な財源を確保していくことは困難です。

これは、佐倉市だけではなく全国的にも課題となっています。将来の世代に大きな負担をかけることなく、公共施設を持続的に使っていくために、全国で様々な取り組みが進められています。公共施設を取り巻く状況や、先進自治体の取り組みなどを知って頂き、これからの公共施設のあり方について市民の皆様とともに考える機会として頂くため、シンポジウムを開催します。

**参加無料**

事前のお申し込みが  
必要です  
詳しくは裏面を  
ご覧ください

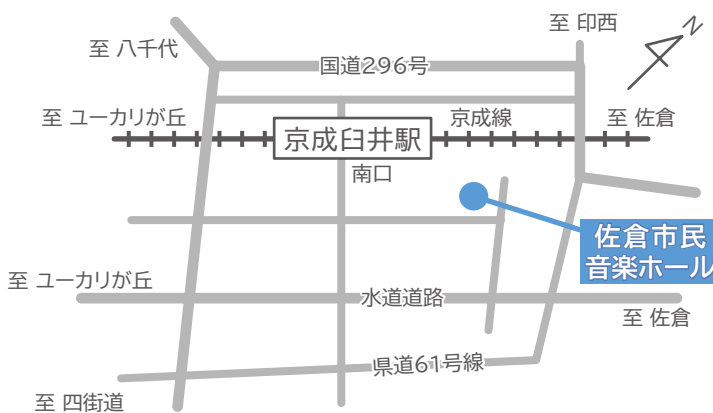
## 日時

令和5年 **2**月 **11**日(土)  
**13:30~16:00**  
(受付開始 12:30)

## 場所

佐倉市民音楽ホール (佐倉市王子台1-16)

駐車台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関でお越しください。



## 定員

**600名** 申込先着順

定員になり次第締め切ります。  
空席がある場合のみ当日参加を受け付けます。

無料託児あり (要予約 先着8名 1月31日締切)

## 注意事項

- 新型コロナウイルス感染症の状況等により、やむを得ず中止・延期または講師を変更する場合があります。
- 会場では、できるだけマスクの着用にご協力をお願いします。
- 体調不良の場合は参加をご遠慮ください。後日、内容を市ホームページに掲載予定です。

主催：佐倉市 (資産経営部資産経営課)

## プログラム (予定)

13:30 開会

13:35~14:35 【基調講演】公共施設マネジメント ~『拡充』から『縮充』への発想転換~  
東洋大学客員教授 南 学 氏

14:45~15:55 【パネルディスカッション】これからの公共施設を考える

コーディネーター 東洋大学客員教授 南 学 氏

パネリスト 千葉大学大学院工学研究院教授 柳澤 要 氏

板橋区都市整備部都市計画課長 千葉 亨二 氏

酒々井町企画財政課主幹(元習志野市資産管理室長) 吉川 清志 氏

佐倉市資産経営部長 小菅 慶太

16:00 閉会

## 基調講演講師



東洋大学客員教授 南 学 氏

東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻客員教授。昭和52年に横浜市役所へ入所後、米国カリフォルニア大学留学派遣、市長室、企画局等を歴任。平成12年に静岡文化芸術大学助教授に転職。以後、神田外語大学、横浜市立大学、神奈川大学等を経て、現職。多くの自治体で公共施設マネジメント推進に関するアドバイザーや研修講師を務める。「統廃合だけでは対応できない！ポストコロナ社会の公共施設マネジメント (学陽書房)」など著書多数。

### ● 参加申込方法

下記申込書に必要事項をご記入のうえ、  
FAX、郵便、またはEメールで佐倉市資産経営課までお送りください。  
右のコードから電子申請でお申し込み頂くことも可能です。

スマホから  
申込はコチラ



### ● お申し込み・お問い合わせ先

〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町97 佐倉市資産経営課  
TEL:043-484-6110 FAX:043-484-1515 Eメール: fm@city.sakura.lg.jp

## これからの公共施設を考える市民シンポジウム 参加申込書

佐倉市資産経営課 行  
FAX: 043-484-1515

代表者氏名		人数	名	TEL	
住所				FAX	
				Eメール	
託児をご希望される場合は、以下もご記入ください。 無料 要予約 1月31日(火)17時締切 (1歳以上から就学前、先着8名まで)					
お子様の氏名	(フリガナ)	性別	男・女	年齢	歳 月

上記個人情報は、本シンポジウム開催について伝達事項が発生した場合の連絡、及び入場整理以外の目的で使用することはありません。